

(一社)日本ツーバイフォー建築協会 ご案内

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会は1976年に設立され、以来、ツーバイフォー工法の技術の向上と普及拡大を目指し活動を行っています。

ツーバイフォー工法のわが国への本格導入は1974年。

耐震性、耐火性、省エネルギー性等構造面での性能の高さが評価され、

これまで住宅着工戸数350万戸を超える実績を積み重ねてきました。

近年は地球環境への意識の高まりとともに「木の建築」として多様な建築用途への採用が広がっています。

協会では、ツーバイフォー工法が時代のニーズに対応し豊かな住生活に

貢献できる建築工法であり続けるために、

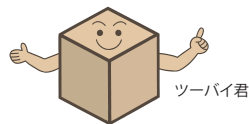
会員とともにさらなる向上を追求し、技術の研究・開発、人材育成、

広報活動等に積極的に取り組んでいます。

ツーバイフォー工法オープン化から50年間で 350万戸超のツーバイフォー住宅が建設 さらなる普及に向けて協会が活動

1974年のツーバイフォー工法(枠組壁工法)オープン化から50年。耐震性・耐火性など優れた性能が評価され、新設住宅着工に占めるツーバイフォー住宅のシェアは1割以上を維持し続けています。また、50年間で累計350万戸超のツーバイフォー住宅が建設されています。協会では、消費者の期待と信頼に応えるツーバイフォー住宅のさらなる普及を目指し、技術の研究・開発、講習会やセミナーの開催、広報活動等の事業活動を行っています。

耐震性、耐火性をはじめ ツーバイフォーの優れた基本性能で 安全・安心を提供

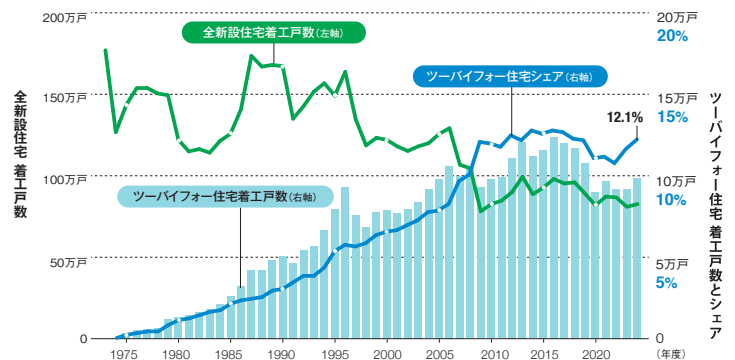


阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、令和6年能登半島地震などの大地震の後に実施した協会会員によるツーバイフォー住宅の被害状況調査では、「被害なし」・「多少の被害」が97%以上を占め、ツーバイフォーの卓越した耐震性能が明らかになっています。また、火災実験や実際の火災現場においては耐火性の高さなども認められています。このような耐震性、耐火性をはじめとしたツーバイフォー住宅の優れた基本性能等により、会員はユーザーの皆様へ安全・安心をお届けしています。

性能面や工期・コスト面のメリット、 環境や人へのやさしさ等が評価され、 ツーバイフォー工法による施設系建築が増加

2004年、協会はカナダ林産業審議会と共同で、ツーバイフォー工法による1時間耐火構造の大臣認定を取得し、これによりツーバイフォー工法で施設系建築等の建設が本格的に始まりました。ツーバイフォー施設系建築は、性能面や工期・コスト面でのメリット、「木の建築」として環境や人へのやさしさ等が評価され、さまざまな用途で採用が広がっています。また、協会は、ツーバイフォー工法による施設系建築の広報用資料を制作・頒布し、さらなる建設促進を図っています。

ツーバイフォー住宅と新設着工推移



「令和6年能登半島地震」においても99.2%が「被害なし」・「多少の被害」

被害程度	被害発生理由			
	強震変形	地盤崩壊	液状化	合計
全壊	0棟	0棟	0棟	0棟
半壊	0棟	2棟	1棟	3棟
一部損壊	0棟	2棟	4棟	6棟
被害なし・多少の被害	1,111棟	0棟	0棟	1,111棟
合計	1,111棟	4棟	5棟	1,120棟

- 震度6弱以上が観測された地域における協会会員の提供したツーバイフォー住宅に関するアンケート調査
- 全壊：住家の損壊、焼失もしくは流失した部分の床面積がその住家の延床面積70%以上等
- 半壊：損壊部分がその住家の延床面積の20%以上70%未満等
- 一部損壊：損壊部分がその住家の延床面積の20%未満等
- 多少の被害：構造躯体に損傷なく、壁紙に破り・少し裂け目が生じたもの、家具の落下等による傷などの被害が生じた等、そのまま居住しても支障がないもの

ツーバイフォー工法による施設系建築の建設推進のために
協会が制作・頒布している広報用パンフレット



ツーバイフォー工法による施設系建築のすすめ



ツーバイフォー工法 施設系建築ガイド



委員会活動

日本ツーバイフォー建築協会では会員が中心となって委員会活動を行い、優れた基本性能と工法合理性を備えるツーバイフォー工法の技術の研究・開発や広報活動、人材育成等に取り組んでいます。

技術系委員会

(常置委員会)

技術推進委員会

リフォーム・カーボンニュートラル分科会

技術開発委員会

コンポーネント・流通分科会

生産推進委員会

現場管理・安全分科会

中高層・施設系建築委員会

労働者・CCUS・外国人分科会

建物品質小委員会

総務系委員会

総務委員会

広報委員会

会報編集分科会

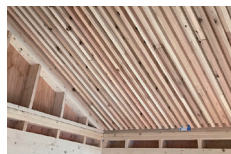
技術の研究・開発

協会では、ツーバイフォー工法・技術のより一層の合理化・高度化に資する技術の研究・開発を行っています。2004年にはツーバイフォー工法で木造による1時間耐火構造の大臣認定を取得しました(※1)。これによりツーバイフォー工法で4階建てや大規模な建築物の建設が可能になり、中大規模・施設系建築等の建設が本格的に始まりました。さらに、2016年には2時間耐火構造の大臣認定を取得するとともに(※2)、6階建て実大実験棟を建設する等、木造による中高層建築物の建設を推進しています。

2020年には、ツーバイフォー工法用の構造用製材を使用して製作した床版・屋根版で、構造の「あらわし」が可能なNLTに関する研究・開発を行い、準耐火構造大臣認定や木造建築新工法性能認証を取得しました(※3)。

2021年からはツーバイフォー工法の合理的な生産・施工システムの利点をさらに向上させるための「ツーバイフォーパネル工法」の技術開発を行っています。

※1～3：協会とカナダ林産業審議会が共同で取得



NLTを「あらわし」で使用した勾配天井



パネル施工基準合理化(屋根パネル施工風景)

技術基準等の整備・普及

ツーバイフォー工法のより一層の普及・発展を目指し、協会では建築基準法の技術基準告示等に関する国への要望・提案を行っています。改正された告示内容や新たな技術開発の成果等をもとに「枠組壁工法建築物 設計の手引」及び「枠組壁工法建築物 構造計算指針」を編集しています。また、ツーバイフォー工法による耐火建築物に関する設計・施工の手引書をはじめ、ツーバイフォーの施工等に関するその他の基準も取りまとめ、手引書として発行するとともに、講習会等を通じて周知を行っています。



設計の手引や構造計算指針の編集



各種施工手引書

設計・施工品質向上の推進

協会は会員限定の「自主工事検査員制度」を設けています。この制度は、会員企業が供給するツーバイフォー工法による建築物の品質確保のために、基礎、構造躯体、防水等の主要工事を自主的に検査する資格者を協会が認定し、登録する制度です。協会が実施する検査員登録講習会を修了した方に自主工事検査員の資格が付与されます。

また、ツーバイフォー工法による耐火建築物の品質確保のために「枠組壁工法耐火建築物 設計者」及び会員限定の「枠組壁工法耐火構造工事検査員」の資格制度を設け、協会の耐火構造大臣認定仕様を利用する場合には本検査員による工事検査を必要としています。



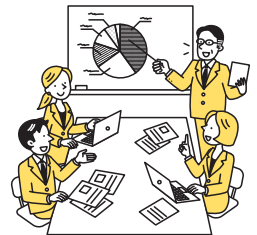
部資材関連情報の共有化

コンポーネント・流通分科会の活動や、協会ホームページの「会員検索システム」「部資材・システム情報」「コンポーネント会社情報」等を通じて、協会の二種正会員(部資材メーカー、コンポーネント会社等)から一種正会員(ビルダー、ハウスメーカー等)、三種正会員(設計事務所等)への部資材関連情報やコンポーネント会社情報等の発信、共有を行っています。



環境対策・ストック活用の推進

環境行動計画を策定して会員企業の取り組み促進を図るとともに、環境関連の最新情報の収集と勉強会等による周知を行っています。また、ツーバイフォー工法によるリフォームの推進のために、リフォーム実例集の制作やストック関連の助成制度等に関する情報提供、セミナーの開催等を行っています。



協会発行・監修の主な書籍

- 枠組壁工法建築物 設計の手引
- 枠組壁工法建築物 構造計算指針
- 枠組壁工法耐火建築物 設計・施工の手引
- 枠組壁工法耐火建築物 現場検査の手引
- 枠組壁工法建築物 構造躯体施工の手引
- 枠組壁工法建築物 くぎ打ちの手引
- 枠組壁工法建築物 防水施工の手引
- 枠組壁工法 床遮音工法ハンドブック
- 大規模木造施設の計画・設計の手引

講習会・セミナーの開催

ツーバイフォー工法に関する技術の普及や習得、スキルアップを図るために、職種や職務経験などに応じた各種講習会・セミナーを開催し、会員企業の社内研修等にも活用されています。また、地域などにかかわらず受講できる「WEB参加型」の講習も実施しています。



詳細はこちら

協会の講習会

営業・技術共通講習		技術系講習
<p>■ ツーバイフォーの基本知識取得のための講習会</p> <p>ツーバイフォー工法の特徴をわかりやすく解説する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ツーバイフォー基本セミナー」など 	<p>■ 資格登録講習会</p> <p>協会認定の資格を取得する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「耐火建築物設計者講習会」 ●「検査員登録講習会」 	<p>■ 設計・施工スキル向上を目指す講習会</p> <p>実務者の職務経験や能力に応じたスキルアップを図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「設計基本講習会」 ●「ツーバイフォー施工実務者基本講習会」など
<p>■ 最新情報・知識取得講習会</p> <p>経営や営業、技術系に役立つ最新情報を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「最新情報提供セミナー」など 		
<p>■ webセミナー</p> <p>受講者の都合に合わせていつでも繰り返し視聴できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「構造計算入門webセミナー」 ●「のぞいてみよう!ツーバイフォーの世界」など 		

技能者の育成等支援

ツーバイフォー工法の大工技能者（フレーマー）の育成やスキルアップ等を目的として、協会は、国家資格「枠組壁建築技能士」取得を奨励し、技能検定「枠組壁建築」の受検に向けたテキストの制作や事前講習会開催等を行っています。また、この資格所有者の中から「優秀フレーマー賞」受賞者の選考、表彰を行い、さらに、その中から「優秀施工者国土交通大臣顕彰」の推薦を行っています。



技能検定事前講習会風景

また、協会は会員の特定技能外国人の受入れ支援に向け（一社）建設技能人材機構（JAC）の正会員になっているため、協会会員はJACへの直接加盟が免除されます。さらに、会員の協力事業者を対象に「特定技能外国人受入れ特別会員制度」を設けるなど、協会は会員の人材確保、技能者育成を支援しています。



詳細はこちら

学生向けプログラムの実施

ツーバイフォー工法の若年層への認知度向上、次世代の担い手育成を目的として、教育機関からの要望に沿ったテーマで出前講座、コンポーネント工場見学会、建方実習（実技指導）等を行う「学生向けプログラム」に取り組んでいます。この活動を通じ、学生の工法理解、ものづくりへの興味を深め、人材確保につなげることを目指しています。



詳細はこちら

広報活動の展開

ホームページやメールマガジン、会報誌、広報パンフレット等により、ツーバイフォー工法に関するさまざまな情報を幅広く発信しています。

■一般消費者向けの広報

動画配信やパンフレット類、協会ホームページ等を利用し、ツーバイフォー工法の構造や性能の特長について解説しています。

また、会員の事業活動をサポートするため、広報ツール類を販売するほか、会員がパンフレットやホームページ等の制作の際に利用できる写真画像・イラスト素材も提供しています。

主な広報ツール



ツーバイフォーガイドブック

ツーバイフォーリフォーム実例集



2x4は耐震性に自信があります



ツーバイフォーの基礎知識



写真画像・イラスト素材の一例



ツーバイフォー工法の基本を学べる動画「ツーバイフォー工法のご案内」をHPにて配信



■事業者向けの広報

ツーバイフォー工法に関連する技術情報や法令、国の施策、助成制度等に関する情報、講習会・セミナーの開催案内などをタイムリーに発信しています。



メールマガジン「2x4News」



ホームページ

各種保険の特典等で会員をサポート

住宅建設事業者等に義務付けられている住宅瑕疵担保責任保険について、保険法人より特定団体の認定を受け、保険料が割引される団体保険「わくわく住宅」を提供しています。

また、業界特有の損害に対して補償する地盤保険や賠償責任保険等において、当協会会員限定の割引料金や補償特約等の特典を用意して会員企業をサポートしています。



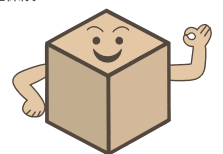
住宅瑕疵担保責任保険



地盤保険



賠償責任保険



日本ツーバイフォー建築協会会員は各地域に所在

協会会員は、正会員および賛助会員によって構成され、約720社の会員が全国各地域に所在しています。

● 一種正会員

ツーバイフォー住宅・建築を建設・供給する法人

● 二種正会員

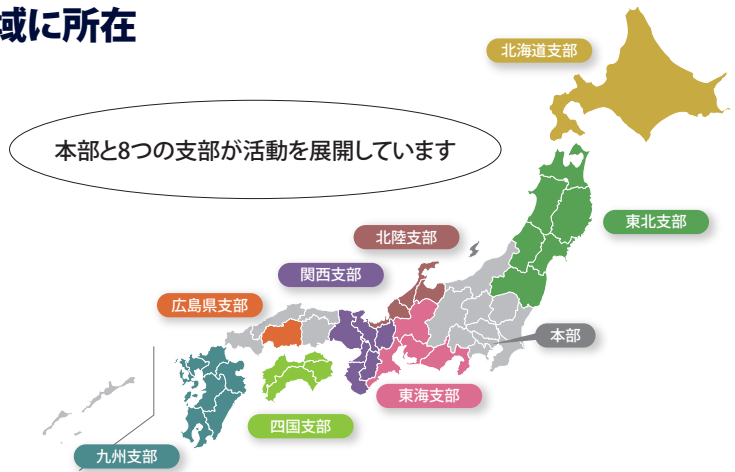
ツーバイフォー住宅・建築に関する部材・機器の製造・販売を行う法人及び普及・啓発を行う法人

● 三種正会員

住宅・建築の設計を専門的に行う法人・個人

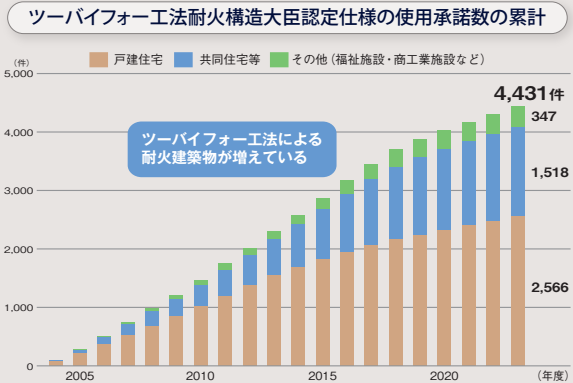
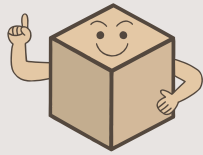
● 賛助会員

協会の活動・趣旨に賛同する法人・団体



本部と8つの支部が活動を展開しています

進化するツーバイフォー



用途広がるツーバイフォー

優れた性能を持つツーバイフォー建築は、さまざまな用途で採用が広がっています。



▲ 特別養護老人ホーム



▲ ホテル



▲ 病院



▲ 共同住宅(木造マンション)

協会連絡先

本部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-17 虎の門センタービル8F TEL 03-5157-0831 (代表)

- 支部 ●北海道支部 TEL 011-811-0205 ●東北支部 TEL 023-676-7872 ●北陸支部 TEL 076-422-4472 ●東海支部 TEL 052-962-3344 ●関西支部 TEL 06-6445-2417 ●広島県支部 TEL 082-223-5734 ●四国支部 TEL 088-663-2428 ●九州支部 TEL 092-472-5573 (2025年4月)



JAPAN 2x4 HOME BUILDERS ASSOCIATION

一般社団法人 日本ツーバイフォー建築協会

<https://www.2x4assoc.or.jp/>



協会ホームページ

※掲載内容の無断転載を禁じます。